

令和5年第5回野洲市議会定例会
請 願 文 書 表

受理番号	請願第2号
受理年月日	令和5年8月17日
請願者の住所、氏名	住 所 滋賀県野洲市〇〇〇〇 氏 名 〇〇〇〇 外1,071名
請願件名	加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設を求める請願書
請願要旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>日本の難聴者数比率は欧米諸国と大差はありませんが、補聴器使用率は、補聴器購入の公的助成制度が確立している諸国（イギリス42.4%、フランス34.1%、ドイツ34.9%）に比べて、公的補助のない日本では13.5%です。</p> <p>加齢性難聴による機能の低下は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす要因となり、鬱や認知症の原因となると言われています。</p> <p>補聴器の価格は片耳あたり10～30万円の高額で、保険適用がなく全額自己負担です。このことが、日本の補聴器普及率の低さの原因と考えられます。</p> <p>高齢者になっても生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすために、難聴となった早い時期から適切に補聴器を使用することが、認知症の予防となり、ひいては健康寿命の延伸、医療費抑制にもつながります。そのために、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求めて請願します。</p> <p>【請願項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国に対して、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう意見書を提出してください。 2. 野洲市において加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設してください。
紹介議員	岩井 智恵子 小菅 康子
付託委員会	文教福祉常任委員会